

日頃、知らず知らずと蒙る半年間の罪穢れを祓い、  
残りの半年間を無事過ごせます様に、健康と家内安全を祈念される皆様方へ

夏越の大祓(茅の輪くぐり)

行事のご案内

日時 六月三十日 祭儀は夕刻より齋行

場所 賀茂神社天満宮

六月三十日、古くからの習わしでありま  
す「夏越の大祓」(茅の輪くぐり)を齋行し  
ますので、お練り合わせの上多数参拝いた  
だきます様ご案内申し上げます。

形代(人形)に罪穢れを移す

人の形をした形代に氏名と年齢(数え年)  
を書き、体を軽く撫で、息を吹きかけます。  
また、車の形をした形代(車形)には、ナン  
バーを書き、ハンドルやボディーを軽く撫で  
て下さい。この罪穢れを移した形代にお初  
穂料を添えて当日(当日参拝できない方は  
前日までに)神社へお持ちください。形代の  
枚数が足りない方はホームページからダウン  
ロードするか、半紙を切って作っても構いませ  
ん。神社社務所にも置いてありますのでお気  
軽にご相談下さい。

半年に一度の厄落としてある六月の「夏越の  
祓」。さらに半年後の十二月末には、同様に厄祓い  
をする「年越の祓」があります。この二つは対にな  
る行事で、体調の変化が著しい季節の変わり目に、  
心身を清めて厳しい夏(お盆)や厳しい冬(新年を  
迎える)を越すためのもので古くから伝わる神事  
です。特に、厄年の方、親族間で生活環境に変化が  
あった方などはお祓いされた方が良いと思います。

きりとり

大祓人形



御初穂料 金

円

きりとり

大祓車形

登録番号

御初穂料 金

円

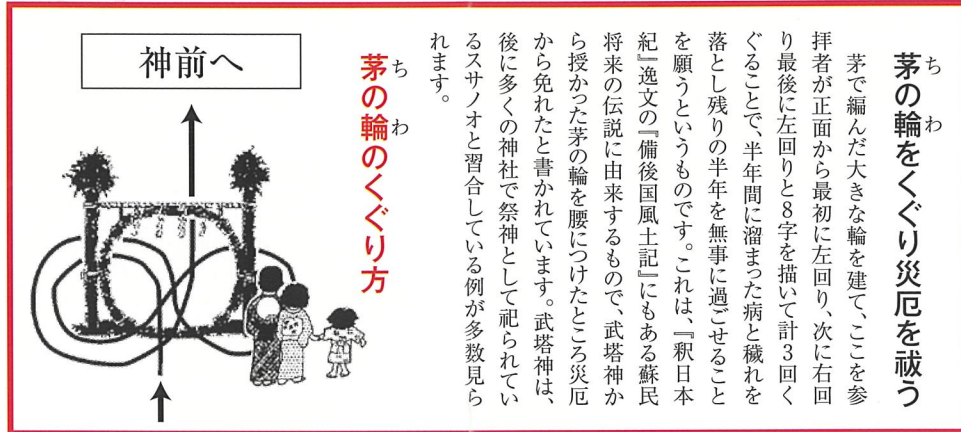
参拝者からの声

- 毎年大祓の行事にはお参りしますが、もう習慣になっ  
てます。昨年忙しさにかまけてつい大祓の日を過ぎてしま  
いお参りできませんでした。やはりお祓いをしないとんだ  
か清々しさを感じませんね。(市外Aさん)
- 年二回大祓の神事にお参りしています。夏越の祓は特別  
で、茅の輪をくぐることによって罪穢れが流される気が  
します。(市内Bさん)
- 大祓の輪くぐりさんは各神社で執り行われていますが、  
震災災難除けや、罪穢れを拭い去るお祓いは賀茂さん  
の御祭神「雷神様」の威力がご利益ありそうです。(市内Cさん)

茅の輪をくぐり災厄を祓う

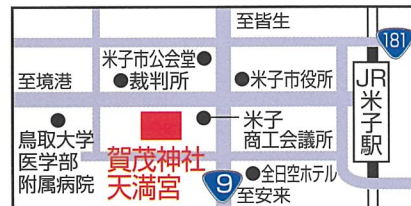
茅で編んだ大きな輪を建て、ここを参  
拝者が正面から最初に左回り、次に右回  
り最後に左回りと8字を描いて計3回く  
ぐることで、半年間に溜まった病と穢れを  
落とし残りの半年を無事に過ごせること  
を願うというものです。これは、『釈日本  
紀』逸文の『備後国風土記』にもある蘇民  
将来の伝説に由来するもので、武塔神か  
ら授かった茅の輪を腰につけたところ災厄  
から免れたと書かれています。武塔神は、  
後に多くの神社で祭神として祀られてい  
るスサノオと習合している例が多数見ら  
れます。

茅の輪のくぐり方



賀茂神社天満宮

所在場所 米子市加茂町2丁目212番地  
電話 0859-22-5780  
E-mail front@kamoten.org  
ホームページ http://www.kamoten.org



お参りは6月中ならいつでもOKです。形代を清める大祓神事は30日です。